



トマト編



病害虫注意報 2020年9月号

※農薬の使用はラベルの記載に従ってください。

マルハナバチ導入前特集

農薬の使用回数は限られているため、マルハナバチ導入前はハチへの影響日数の長い農薬を使用し、影響日数の短い農薬は後にまわしましょう。

葉かび・すすかび病対策

葉かび病・すすかび病を出さないためには、薬剤の予防散布が重要です！
どちらの病気も潜伏期間が約2週間あり、「症状が出ていない=感染していない」ではありません。症状が出てからでは遅いので、予防を心掛けてください。

コナジラミ類対策

バイオタイプQに有効とされる薬剤

- アルバリン顆粒水溶剤
- コロマイト乳剤
- ファインセーブフロアブル
- クリアザールフロアブル
- アプロードエースフロアブル
- ディアナSC
- コルト顆粒水和剤
- トランスフォームフロアブル
- モベントフロアブル
- フーモン
- ベストガード など

葉かび病、すすかび病は共に多湿条件下で発病しやすい特徴があります。換気が不十分な場所や摘葉の枚数等を再度確認し、適切な対策を打ちましょう！

トマト黄化葉巻病はTYLCVというウイルスによる病気で、タバココナジラミ(バイオタイプB,Q)によって媒介されます。

今月のおすすめローテーション

葉かび病・すすかび病・コナジラミ類対策
ハチへの影響日数の長い薬剤を使用しています

時期	対象病害虫	薬剤名	倍率	使用時期	回数	影響日数 マルハナバチ
9月 ①	うどんこ病・アブラムシ類 コナジラミ類・ハダニ類	フーモン ※野菜類登録	1,000倍	前日	-	1日
	コナジラミ類・カメムシ類	アルバリン顆粒水溶剤	2,000~3,000倍 (カメムシ類は2,000倍)	前日	2回	14日以上
9月 ②	コナジラミ類・トマトヒゲダニ アザミウマ類・トマトハモグリバエ	アグリメック 卵(ハダニ類)にも効果あり	500~1,000倍	前日	3回	7日
	コナジラミ類・アブラムシ類	コルト顆粒水和剤	4,000倍	前日	3回	7日
9月 ③	葉かび病・すすかび病 うどんこ病・灰色かび病	ベルコートフロアブル	2,000~4,000倍	前日	3回 ※回数注意	0日
	コナジラミ類・アブラムシ類 アザミウマ類 加バネノコバエ類	ベストガード水溶剤	1,000~2,000倍	前日	3回	10日以上
9月 ④	すすかび病・葉かび病	トリフミン水和剤	3,000~5,000倍 (すすかび病は3,000倍)	前日	5回 ※回数注意	1日
	コナジラミ類・アブラムシ類 トマトヒゲダニ	トランスフォームフロアブル	1,000~2,000倍 (アブラムシ類は2,000倍)	前日	2回	2~5日

高温対策に！ 効果は約1か月

すすみどり

香り成分で、葉焼けや萎れ等の高温障害を予防！
更に光合成を向上
ハウス内に吊るすだけ
10a当たり10~20錠



登録拡大農薬紹介

ケンジヤフロアブル

- ◆優れた予防効果
- ◆次世代菌密度低減効果
- ◆SDHI剤耐性菌にも高い効果
FRAC:7(SDHI剤)

葉かび病・灰色かび病・うどんこ病
1,500倍/前日まで/3回以内



軟弱徒長株を強く！

0-28-26

エレマックス赤

1,000倍 葉面散布

- ▶樹を締めて徒長防止！
- ▶花芽分化・着果(花)の向上に！
- ▶病気抵抗力の向上に！

◎石灰硫黄合剤、アルカリ性農薬、銅剤、液肥、ホルモン剤との混用は避けてください
※カテキンパワーとの混用は可能です



肥料登録
輸第9423号